

平成26年度 身近な環境市民調査事業

「カエル」調査  
結果報告書

○調査期間：平成26年6月1日～8月31日

大津市

## もくじ

身近な環境市民調査について	2
平成26年度力エル調査について	4
勉強会配布資料	6
力エル調査票	14
メッシュコードについて	15
平成26年度調査結果	
調査結果の概要	17
①種類別報告	18
②メッシュ別報告	20
③学区別報告	36
④環境別報告	39
⑤発見の状態と時期変化	44
力エル調査を振り返って	48
市民調査員の皆様からの感想・写真等	49

# **身近な環境市民調査について**

この事業は、市民のみなさんに“身近な環境市民調査員”として大津市の身近な環境について調査をしていただくことで、身の回りの自然や環境の状況を実感し自然環境への意識と関心を高めてもらうとともに、市民調査員さんからの報告をまとめ発信することにより、より広い大津市民のみなさんに大津市の身近な環境を知ってもらい、環境保全活動や環境学習に活用してもらおうというものです。

身近な環境というとよく知っているように思いがちですが、普段なにげなく見過ごしているものも意外と多いものです。川や池で元気に泳いでいる魚たち、道ばたに咲く小さくかわいい花、鳥のさえずり、虫の声など、みなさんが今まで気付かなかった大津市のすばらしい環境を見出し、大津の環境の未来に大きな夢を与える人～環境夢先案内人～となってくださることを願っています。

## **1 市民調査員の対象**

大津市在住・在勤・在学の方ならどなたでも。

ただし、小学生以上とし中学生以下は大人と一緒に調査を行います。

## **2 活動内容**

身近な環境について様々な角度から調査し、報告していただきます。

調査対象の生き物は、環境政策課から指定いたします。

## **3 調査の方法**

「調査用ガイドブック」「3次メッシュ地図」「参考資料」などをもとにして調査します。

調査した結果を調査報告書に記入し、環境政策課まで報告していただきます。

## **4 調査結果**

集まった調査報告を環境政策課にて集約し、まとめたものを報告書と分布図として作成します。また、結果をホームページ上で公開します。

## 5 身近な環境市民調査 とは (説明会資料より)

○調査する生き物について、よく知ることからスタートします。

→ 調査対象になった生き物についての学習と調査方法説明会を環境政策課の主催で開催します。

○身近に存在する生き物たちを、一定期間調査し、大津市へ報告します。

→ 1年間に1～2の対象を調査します。調査期間は、対象がよく見られる時期に行います(環境政策課から指示いたします。)。

○調査する場所は、家の周りやいつもの散歩道など、無理なくできる範囲です。

→ 無理のない、日常生活の範囲内で大丈夫です。

○いただいた報告で、冊子や地図(ポスター)を作成して張り出し、またホームページなどでも掲載されることで、大津市民の方々へ広く公表します。

→ できあがった冊子や地図は、もちろんご協力いただいた市民調査員の全員へも配布します。

○できあがった冊子などは、様々な環境保全活動へ提供し、役立ててもらいます。

→ そのためにも、一つでも多くの情報が必要となります！

○調査にあたっては、次のことを守ります。

危険な場所へ立ち入るなど、無理な調査はしません。

→あくまでも“身近な環境”的調査です。安全第一でケガのないようにお願いします。

他の人に迷惑をかけません。

→他人の土地へ勝手に入ったりしないようにお願いします。

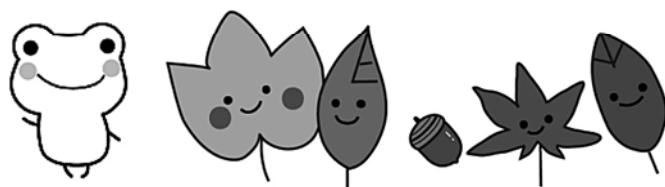
見つけた生き物たちをむやみに採ったり、他の場所へ移したりしません。

→種類によっては、場所を移されただけでも死んでしまうこともあります。

小さい子どもたちは、大人の方と一緒に調査します。

→安全に自然に親しんでいただきたいと思います。

私たちは、生き物たちとの出会いを楽しみます！！



## 平成26年度 カエル調査について

カエルほど人々に親しまれる生き物はいないのではないでしょうか？つぶらな瞳、愛らしい大きな口、皮膚の不思議なさわり心地など、子どもから大人まで夢中にしてしまう何かをもっていることは間違ひありません。それにカエルは、田畠や川など人々の身近な環境に大昔から生息していました。

ところが近年、カエルの減少がささやかれるようになりました。例えばトノサマガエルは、気象庁が行う生物季節観測（※）で、毎年各地の気象台が観測を行っています。しかし、最近は都市部で観測されない年が続くなどし、調査項目から外さざるを得ない状況となっているというのです。これは滋賀県でも同じで、彦根地方気象台では、2005年以降まったく観測されない年が続き、2014年に10年ぶりの観測があったことが大きな話題となりました。

今回、私たちは身近な環境市民調査の調査対象として、はじめてカエルを取り入れることにしました。この調査は、どんなカエルが発見されるのか、数はどれくらいいるのかを確かめるのはもちろんのこと、調査を通じて今現在のカエルを取り巻く状況について考察し、市民の皆様に身近な自然環境を見つめてもらうこと、新しい発見をしていただくことを目的として実施したものなのです。

（※）生物季節観測：生物の動向で季節の移り変わりを調べる観測のこと。他に桜の開花やウグイスの初鳴きなどがある。

### （1）カエル勉強会

日 時 平成26年6月1日（日）10時～12時

場 所 大津市役所別館大会議室

講 師 関 慎太郎 先生（京都水族館展示飼育部課長（当時）／学芸員）



勉強会風景

なんと 200 名もの方に御参加  
をいただきました！

関先生にご用意いただいた  
カエルの実物に触れました。



## (2) 講師

関 慎太郎 先生

1972年兵庫県神戸市生まれ。大津市在住。

琵琶湖博物館の飼育員を11年、フリーカメラマン3年を経て京都水族館開業に携り、同飼育展示部職員を務められる。なお、本年度中に京都水族館副館長に就任された。水辺生物の生態写真撮影をライフワークとし、とくに両生類、爬虫類の写真には定評がある。現在は淡水魚や田んぼにすむ生き物と甲殻類の撮影に取り組んでいる。

主な出版物（カエル関連）

「カエル飼育ノート」（誠文堂新光社、平成25年6月出版）

「NEO ポケット 水辺の生物」（小学館、平成25年6月出版）

など、カエル以外にも両生類や爬虫類に関する著書多数あり。

## (3) 調査期間

平成26年6月1日（日）～平成26年8月31日（日）

## (4) 調査対象地域

大津市内全域

## (5) 調査対象のカエル

(3) の調査期間中に、大津市内で見ることができる以下の15種類のカエル

- |           |  |
|-----------|--|
| ○アマガエルの仲間 | ・・・ニホンアマガエル  |
| ○アオガエルの仲間 | ・・・シュレーゲルアオガエル、モリアオガエル、カジカガエル  |
| ○ヒキガエルの仲間 | ・・・ニホンヒキガエル、アズマヒキガエル、ナガレヒキガエル  |
| ○アカガエルの仲間 | ・・・ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、トノサマガエル<br>ナゴヤダルマガエル、ツチガエル、ヌマガエル、<br>ウシガエル、タゴガエル |

## (6) 報告方法

調査結果を調査票に記入して、環境政策課へ提出する。

調査票記入要領

- |            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| ①「調査日」     | 日時を記入します。                       |
| ②「メッシュ地図」  | 場所のメッシュコードを記入します。               |
| ③「調査場所」    | 場所の住所などを詳しく記入します。               |
| ④「調査場所の環境」 | 場所の環境について、大分類と詳細を○で囲みます。        |
| ⑤「カエルの名前」  | 見つけたカエルの名前を記入します。               |
| ⑥「発見の状態」   | 見つけたカエルの発見時の状態を○で囲みます。          |
| ⑦「個体数」     | 見つけたカエルの数を記入します。                |
| ⑧「気が付いたこと」 | 見つけたカエルの色・大きさ・形・鳴き声などを自由に記入します。 |

## (7) 報告期限

平成26年9月16日（火）

## 平成26年度 身近な環境市民調査（カエル調査）勉強会資料

### 大津市のカエル

京都水族館 関慎太郎

滋賀県では、これまでに16種類のカエルが確認されています。本州で見られるカエルの大部分が見られる数少ない県です。大津市ではまだ目撃記録が無いナガレタゴガエルを除く15種類のカエルを見る事ができます。大津市にこれほどカエルの種類が多い理由として、南北に細長い地形と、平地から山地、川や田んぼといったカエルが好む多様な環境が残っているためだと考えられています。たとえば、市の北西部に比較的標高の高い山地が連なり、その谷を縫うように小さな渓流が流れています。ここには県内分布が限られるナガレヒキガエルがすみ、それに繋がる清流にはカジカガエルがその美声を聞かせてくれます。大津市南部の山地では、ニホンヒキガエルがアズマヒキガエルとのすみわけの境界線を作っているため、市内では両種を見ることができます。平地では県内分布の中心が大津市にあるヌマガエルが広くすんでいます。これに加え、比較的多く見られる滋賀県の指定希少野生生物種に指定されるナゴヤダルマガエルはトノサマガエルと分布をすみ分け、湖岸近くにナゴヤダルマガエルが、山際にはトノサマガエルを見ることができます。しかし近年これら両種は生息地の減少から、両種の混生する地域が多く見られるようになりました。その結果、両種の交雑種が見つかっています。大津市で最も多く見られる種類として、吸盤を上手に使い高い障壁をも移動することができるニホンアマガエルや幼生のまま越冬することが可能なツチガエルは、水路や小川を伝い移動し分布を拡散しています。これは外来種であるウシガエルも同様で幼生のまま3年経る個体が多く、その大きさと優れた遊泳力でますます分布を拡大しています。他地域では数の減少が見られるモリアオガエルやタゴガエル、ニホンアカガエル、シュレーゲルアオガエルは、多様な生息環境が良好な状態で保たれている市内ではまだ多く見られるため、観察の行いやすい場所が残っています。

今回の調査では、ニホンヒキガエルやナガレヒキガエル、ヤマアカガエル、ナゴヤダルマガエルなど分布情報が乏しい種はもちろんのこと、市民調査だからこそできるニホンアマガエルやトノサマガエル、ツチガエルなどの普通種の詳細な市内での分布状況を中心に、鳴き声が美声なカジカガエル、それに反して恐ろしい鳴き声のウシガエル、山地の地面から鳴き声が聞こえてくる不思議なタゴガエルなど聴覚をフルに発揮してみたり、視覚を利用してのモリアオガエルの卵塊の発見に重点を置くのもいい方法でしょう。

カエルは環境のバロメーターでもあります。良好な環境が残るこの大津市で、カエルをたくさん見つけることによって、生物多様性の豊かさを自慢できる指標を作り、この結果が数年後さらに良くなっていることを確認できる基礎資料になればいいなと考えております。ぜひ皆さんこの機会に参加し、カエルをもっともっと好きになってください。

おおつし  
大津市で見られるカエル (15種類) しゅるい

○アマガエルの仲間



ニホンアマガエル

○ヒキガエルの仲間



アズマヒキガエル



ニホンヒキガエル



ナガレヒキガエル

○アオガエルの仲間



シュレーゲルアオガエル



モリアオガエル



カジカガエル

○アカガエルの仲間



ニホンアカガエル



ヤマアカガエル



トノサマガエル



ナゴヤダルマガエル



ツチガエル



ヌマガエル



ウシガエル



タゴガエル

ちょうさきかんちゅう  
調査期間中

(6月～8月) に大津市で見られるカエルの卵 (10種類)

○アマガエルの中間



ニホンアマガエルの卵

4～7月

稻などに小さな卵塊の卵を産む

○アオガエルの中間



シュレーゲルアオガエルの卵

4～6月

水田の畔の土中に泡に包まれた卵を産む

(注) 説明欄には、①卵が見られる時期、②卵が見られる場所と卵の特徴を記しています。



カジカガエルの卵

5～7月

水流の水中にある石の下に卵を産む



モリアオガエルの卵

4～7月

池や水たまりの上にある木に泡に包まれた卵を産む

○アカガエルの仲間



ツチガエル

5~8月  
水田や篠に小さな卵塊の卵を産む



タコガエル

3~6月  
岩の割れ目から水が流れるような場所に小さな卵塊の卵を産む



ナゴヤダルマガエル

4~7月  
水田に小さな卵塊の卵を産む



ウシガエル

5~9月  
水田や池にシート状の卵を産む



トノサマガエル

4~6月  
水田に大きな卵塊の卵を産む



ヌマガエル

5~8月  
水田に小さな卵塊の卵を産む

ちょうさきかんちゅう  
調査期間中（6月～8月）

おおつし  
大津市で見られるオタマジャクシ（10種類）

○アオガエルの仲間



ニホンアマガエルのオタマジャクシ

4～5 cm。眼の間隔が広く、側面に突き出ているようにみえる。尾の丈が幅広い。

○アオガエルの仲間



シユレーグルアオガエルのオタマジャクシ

4～5 cm。尾が細長い。口は小さい。

モリアオガエルのオタマジャクシ  
4～5 cm。黒っぽい体色で、尾は細長い。口は大きい。越冬することがある。



モリアオガエルのオタマジャクシ

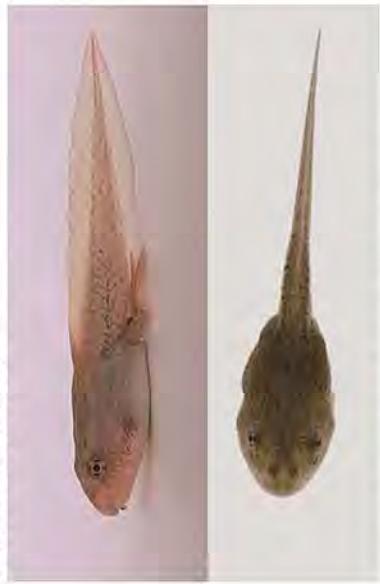
3～4 cm。頭は卵型をしている。尾は細長い。口は大きく吸盤状。



カジカガエルのオタマジャクシ

3～4 cm。頭は卵型をしている。尾は細長い。口は大きく吸盤状。

## ○アカガエルの仲間



トノサマガエルのオタマジャクシ

6~7 cm。背中に不明瞭な黒点がある。  
背中線を持つ。尾に網目模様がない。



ヌマガエルのオタマジャクシ

3~4 cm。眼の間隔が狭く、尾が長い。  
大きな黒斑がある。



ナゴヤダルマガエルのオタマジャクシ

5~6 cm。背中に小さな斑点がある。尾  
に網目模様がある。



ウシガエルのオタマジャクシ

12~15 cm。背中は縁がかっていて、  
白点と黒っぽい斑点が散在する。



ツチガエルのオタマジャクシ

4~8 cm。尾にたくさん黒点と銀白色  
の点をもつ。胸と腹には銀白色の点があ  
る。越冬することがある。



タゴガエルのオタマジャクシ

2~3 cm。尾は長く、口が小さい。小さ  
くて体の色は白っぽい。

<<力エネルギー検索表>>



...二ホン  
アマガエル

前足に吸盤がある  
目を通る黒い筋がある



目を通る  
黒い線

きゅうばん  
あり



目を通る黒い筋  
がない

つかまえたカエル



...シユレーグル  
アオガエル

黒目のまわりが  
黄色皮膚がすべすべ

黒目のまわりが  
赤かオレンジ色  
皮膚がザラザラ

...モリアオガ  
エル

緑色ではない岩  
に似た暗い色

...カジカガエル

鼓膜が小さい

背中にたくさん  
のイボがある  
目の後ろに大きな  
耳腺がある



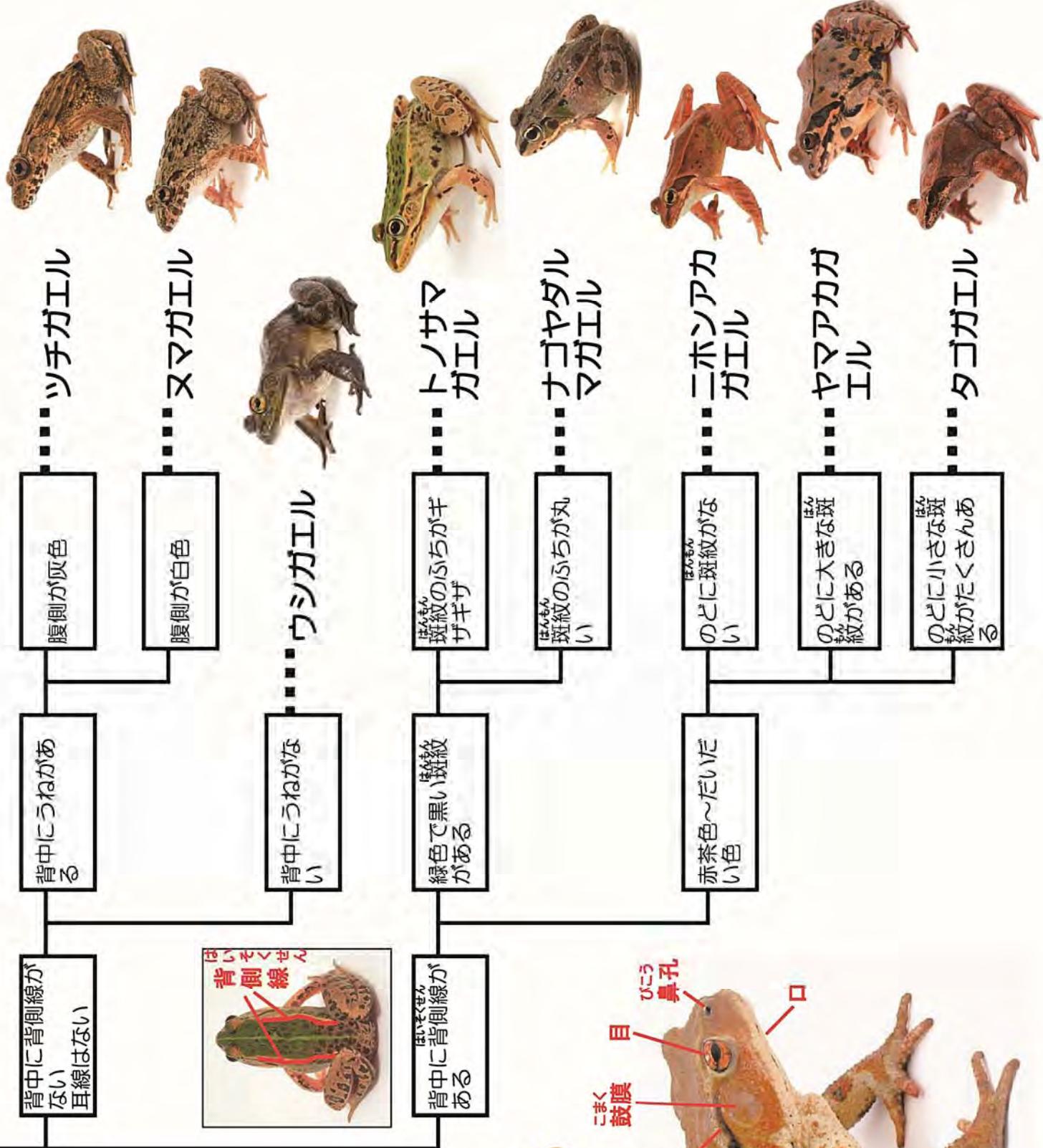
イボ  
じせん

...ナガシ  
ヒキガエル

鼓膜がとても小  
さい



きゅうばん  
なし



アズマヒキガエルの  
体のしくみ



# 力エル 調査票

調査期間  
ヒヨウ

平成 26年 6月 1日 ~ 8月 31日

報告期限  
ホウコクキゲン

平成 26年 9月 16日

あなたの住所  
ジユウジヨ  
あなたとの名前  
ナマエ

調査日	ハッシュ地図	調査場所	調査場所の環境	力エルのナマエ	ハッケン発見の状態	コライスク個体数	キエが付いたこと
月/日 午前午後 時 間 番号 (下4けた)	ハッシュ地図 シヤウジヨ (住所など出来るだけ詳しく述べ)	ダイブル類(1つ選ぶ) 大分類(1つ選ぶ)	シヤウサイ(1つ選ぶ) 詳細(1つ選ぶ)	(ナマエ カコ 各前を書くか○で塗む)	(○で塗む) 成体・ 幼生(オタマジャクシ) タマゴ・ 卵	カコ (数字を記入する)	色 オオ 大きさ カタチ 鳴き声 など
6/15 10時 30分	平野 山すそ 山	ヒヤ 雄琴四丁目14番地先 雄琴川下流域 河川敷の草むら	ケリュウ 川 道沿い がコウ 学校	モリ 森 コウエン 公園	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	お腹が白いのでトノサマである。 逃げるのが早く、なかなか捕まえられなかつた。
/	/	/	モリ 森 コウエン 公園	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵
/	/	/	モリ 森 コウエン 公園	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵
/	/	/	モリ 森 コウエン 公園	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵
/	/	/	モリ 森 コウエン 公園	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵
/	/	/	モリ 森 コウエン 公園	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵
/	/	/	モリ 森 コウエン 公園	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵
/	/	/	モリ 森 コウエン 公園	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵	モリ 池 田畠 タマゴ 卵

## メッシュコードについて

※ 今回のエル調査報告及び、いただいた情報をまとめる際に、「基準地域メッシュ（3次メッシュ）」国土地理院国土数値情報の第3次メッシュを使用しました。これは、「標準地域メッシュ・システム（昭48.7.12 行政管理庁告示第143号「統計に用いる標準地域メッシュ及び標準地域メッシュコード」）に基づくもので、一定の経線、緯線で地域を網の目状に区画する方法です。1次メッシュは、経度差1度、緯度40分で区画された範囲を指し、2次メッシュは1次メッシュを縦横8等分したもので、3次メッシュは2次メッシュを縦横10等分したものです。

3次メッシュ地図の仕組みについては、環境省生物多様性情報システムホームページに掲載されています。

[http://www.biodic.go.jp/kiso/col\\_mesh.html](http://www.biodic.go.jp/kiso/col_mesh.html)

## メッシュコードの作り方

手順1. 該当ページで、調べたい地域を探す



手順2. 2次メッシュコードと、その地区の数字とを組み合わせて、3次メッシュコードをつくる

大津市役所の3次メッシュコード  
5235-4618  
となります

メッシュ分布図（大津市内）

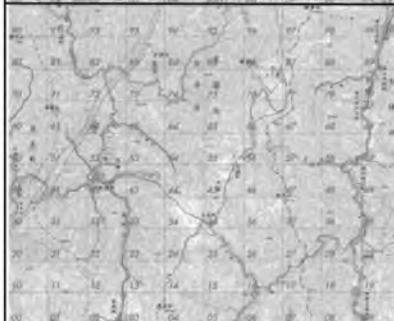
5235-76



5235-77



5235-66



5235-67



5235-56



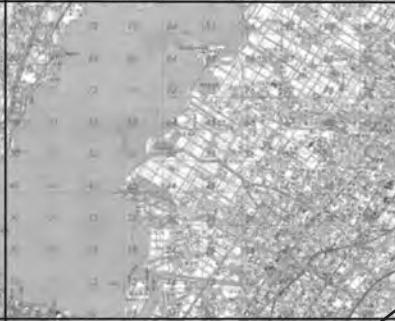
5235-57



5235-46



5235-47



5235-37

5235-37

5235-36



5235-30



5235-26



5235-20



5235-26

## 平成26年度 調査結果

### 調査結果の概要

- 本調査は、一般募集による296名の登録市民調査員のうち104名の方が、それぞれが選んだ調査場所で見つけたカエルを、調査票に沿って報告してくださったものです。
- そのため、地域によって市民調査員の数に違いがあり、また観察の方法も少しずつ異なることから、数の多少を単純には比較することはできません。

### 《注意事項》

報告結果を解析するにあたって、調査員の皆様からいただいた報告データを以下のように反映させました。

① カエルの種類については、不明との報告を多数いただきましたが、報告内容や頂いた写真から出来る限り同定を行いました。なお、調査員の皆さんに同定いただいたものについては、明らかに書き間違い等以外はすべてそのままの内容でまとめてあります。

② 個体数については、成体・幼生（おたまじゃくし）などの調査時の状態や、種類による卵の形状の違いによって、数え方に違いが生じているものと思われます。また、個体数を「たくさん」などの表現で記入されたものも多数ありましたので、およその数として数値に置き換えております。

例) 数匹→5匹 十数匹→15匹 多数→25匹 数え切れない→50匹 など

③ 学区区分については、報告のあったメッシュコードおよび住所から、各学区に振り分けました。

④ 大津市外の報告については残念ながら含めておりません。しかしながら、市外の報告も多数いただき誠にありがとうございました。

## ①種類別報告

報告数はのべ920件で、報告されたカエル（幼体、卵を含む）の総個体数は8,078個体でした。今回対象としたカエルは、過去に大津市より報告のあった15種類を対象とし、ナガレヒキガエルを除いた14種類が報告されました。

表1および図1から以下のとおり考察しました。

まず、ニホンアマガエル・トノサマガエル・モリアオガエルの報告数が多いことがわかります。これは、

- ・人目に付きやすい場所にいることが多い
- ・卵や幼生に特徴があり、かつ市民の関心が高い

ことが理由であると考えられます。

また、上記の3種は在来種ですが、外来種であるウシガエルも62件と高い割合で見つかっていることもわかります。

次に、大津市の気候や環境がたくさんの種類を育むのに非常に適していることがわかります。なぜなら、滋賀県で見られる大部分のカエルが大津市で確認することができますし、また田んぼ、清流、山に依存して住んでいるカエルが万遍なく見られるからです。

表1 種類別報告数

No.	種類	報告件数 (件)	構成比率	報告個体数 (匹)	構成比率	1報告あたり の個体(匹)
1	ニホンアマガエル	299	32.5%	2263	28.0%	7.6
2	シュレーゲルアオガエル	5	0.5%	29	0.4%	5.8
3	モリアオガエル	69	7.5%	1234	15.3%	17.9
4	カジカガエル	14	1.5%	26	0.3%	1.9
5	ニホンヒキガエル	9	1.0%	44	0.5%	4.9
6	アズマヒキガエル	6	0.7%	7	0.1%	1.2
7	ナガレヒキガエル	0	0.0%	0	0.0%	0.0
8	ツチガエル	53	5.8%	681	8.4%	12.8
9	ヌマガエル	55	6.0%	340	4.2%	6.2
10	ウシガエル	62	6.7%	163	2.0%	2.6
11	トノサマガエル	241	26.2%	1640	20.3%	6.8
12	ナゴヤダルマガエル	8	0.9%	21	0.3%	2.6
13	ニホンアカガエル	1	0.1%	1	0.0%	1.0
14	ヤマアカガエル	1	0.1%	2	0.0%	2.0
15	タゴガエル	16	1.7%	34	0.4%	2.1
	不明	81	8.8%	1593	19.7%	19.7
	合計	920	100%	8078	100%	8.8

図1 種類別報告件数

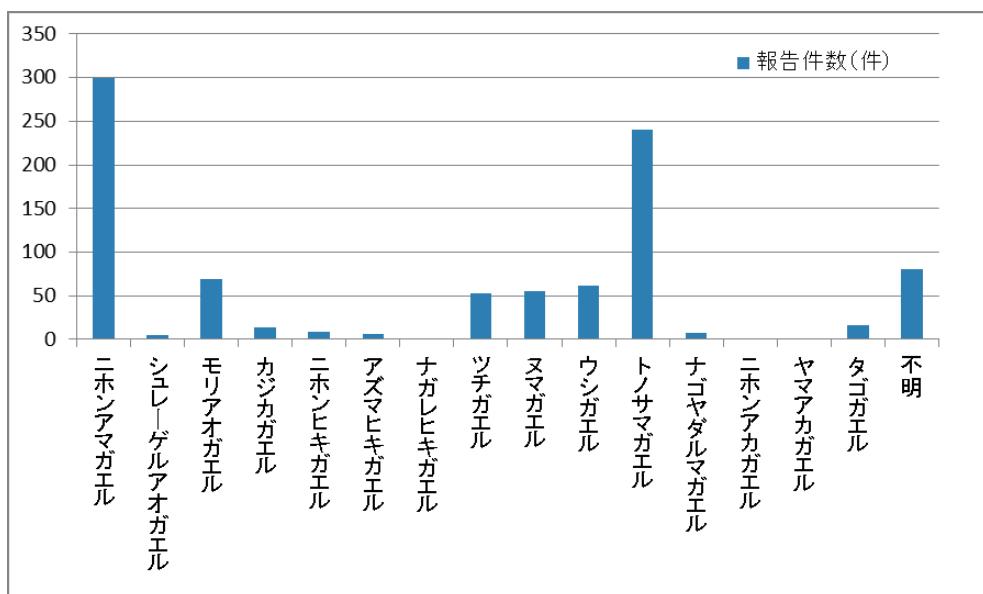


図2 種類別報告個体数

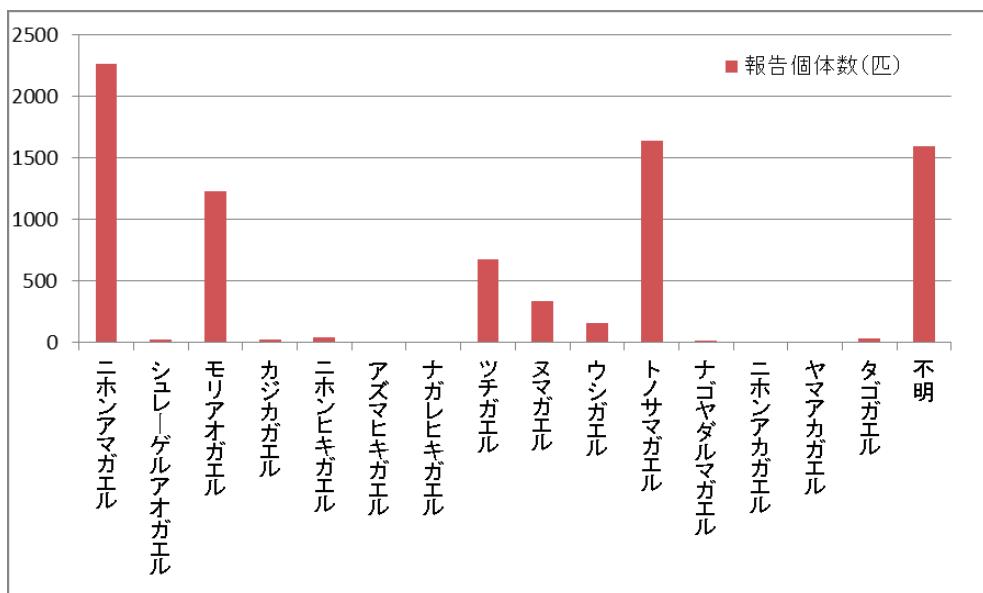
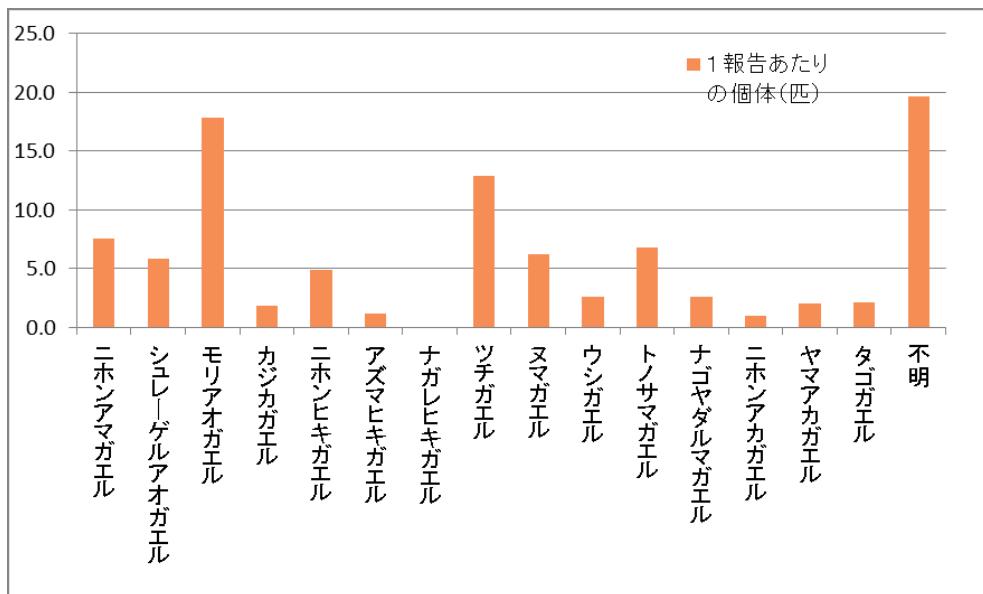


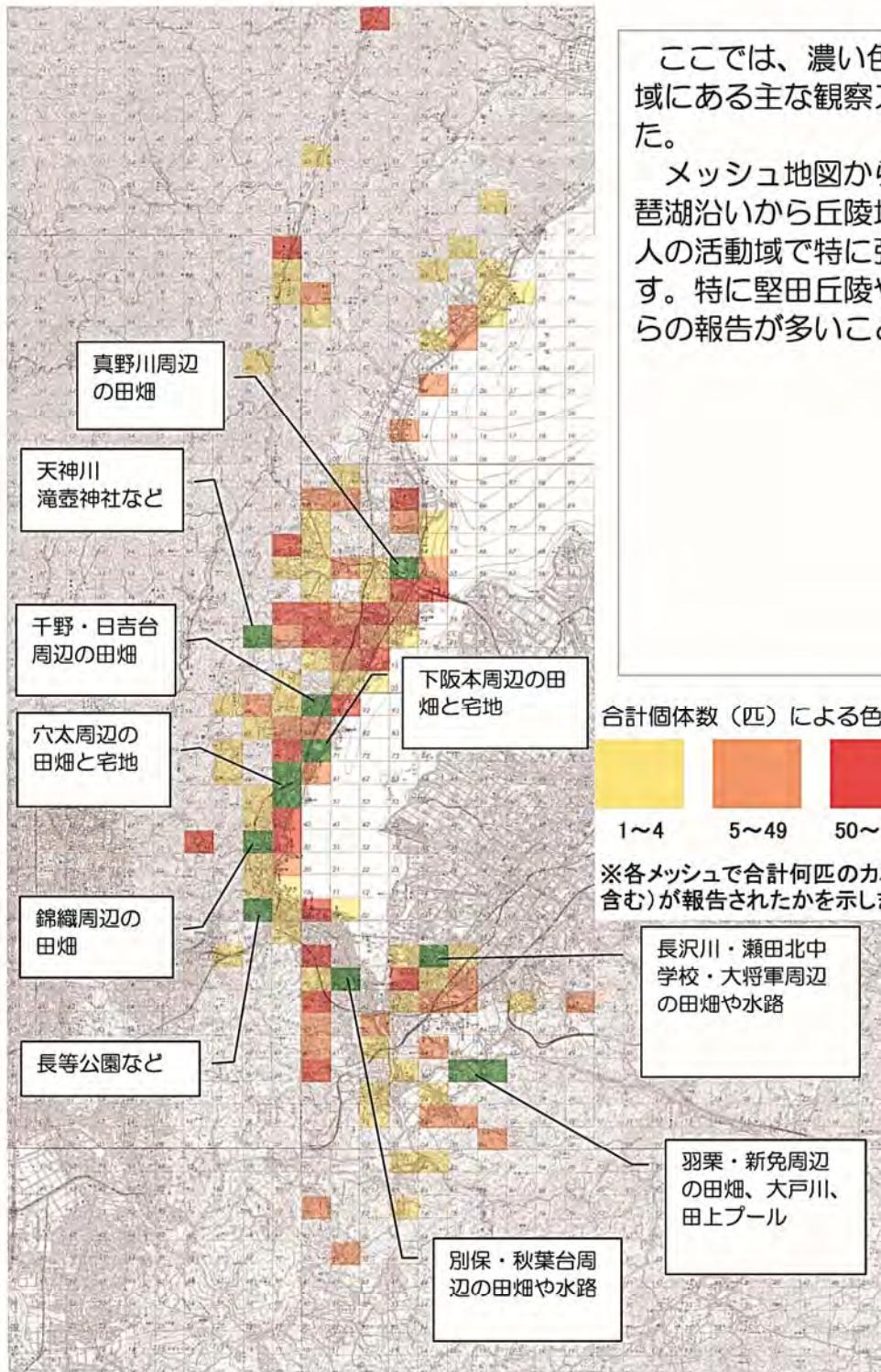
図3 種類別1報告あたりの個体数



## ②メッシュ別報告

大津市の全メッシュ444のうち、約27.7%にあたる123メッシュで報告がありました。ここでは、種類ごとによるメッシュ地図の色分けをして考察を行いました。

# カエル全体



ここでは、濃い色の部分について地域にある主な観察スポットを示しました。

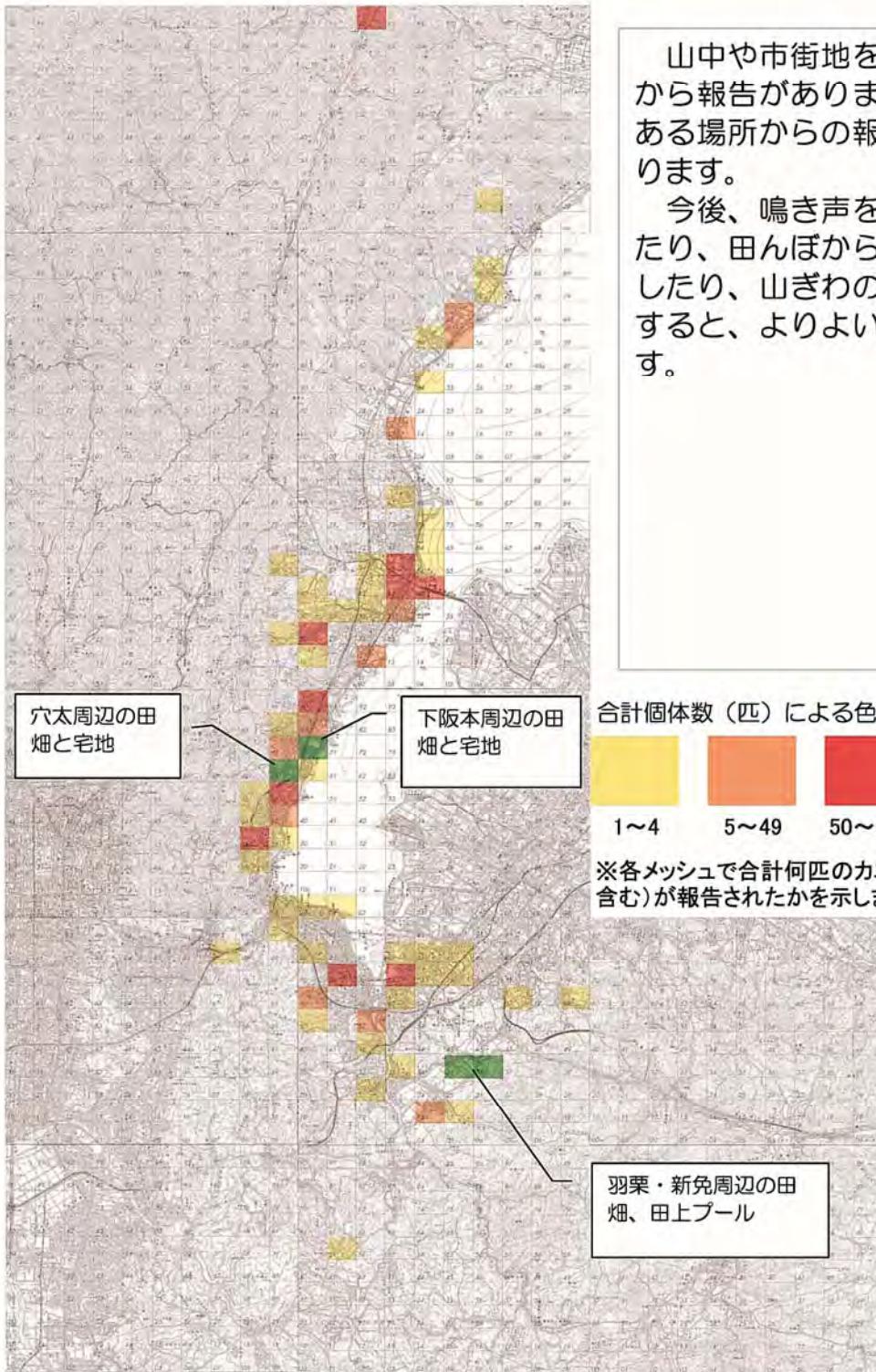
メッシュ地図からわかるように、琵琶湖沿いから丘陵地での報告が多く、人の活動域で特に強い色を示しています。特に堅田丘陵や比叡山のふもとの報告が多いことがわかります。

合計個体数(匹)による色分け



※各メッシュで合計何匹のカエル(幼生や卵含む)が報告されたかを示します。

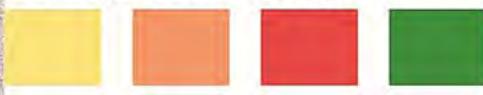
# ニホンアマガエル



山中や市街地を除いた、幅広い地域から報告がありました。特に田んぼのある場所からの報告が多いことがわかります。

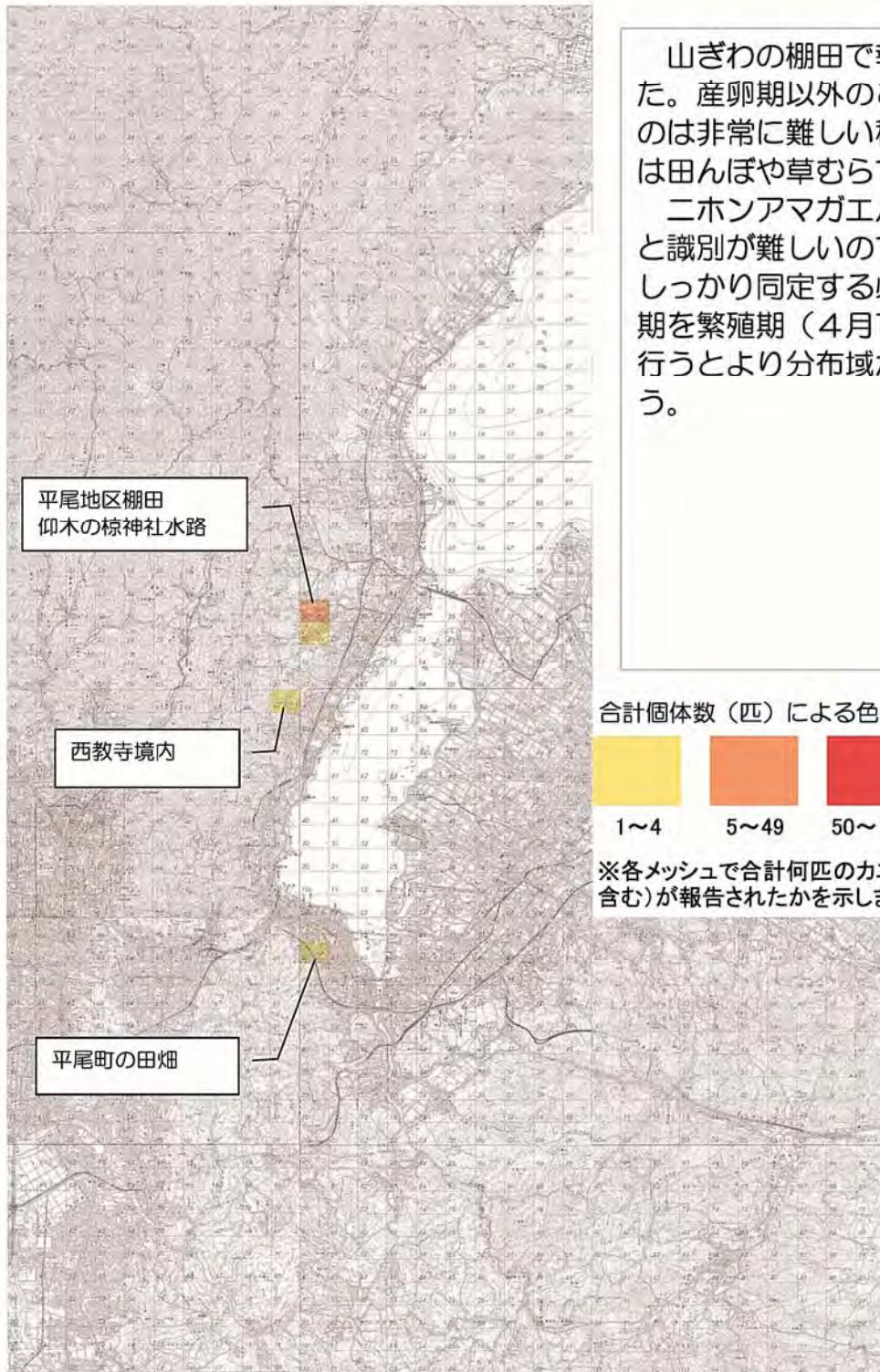
今後、鳴き声を頼りに生息を確認したり、田んぼから少し離れた場所で探したり、山ぎわの田んぼの情報も収集すると、よりよい結果が得られそうです。

合計個体数(匹)による色分け



※各メッシュで合計何匹のカエル(幼生や卵含む)が報告されたかを示します。

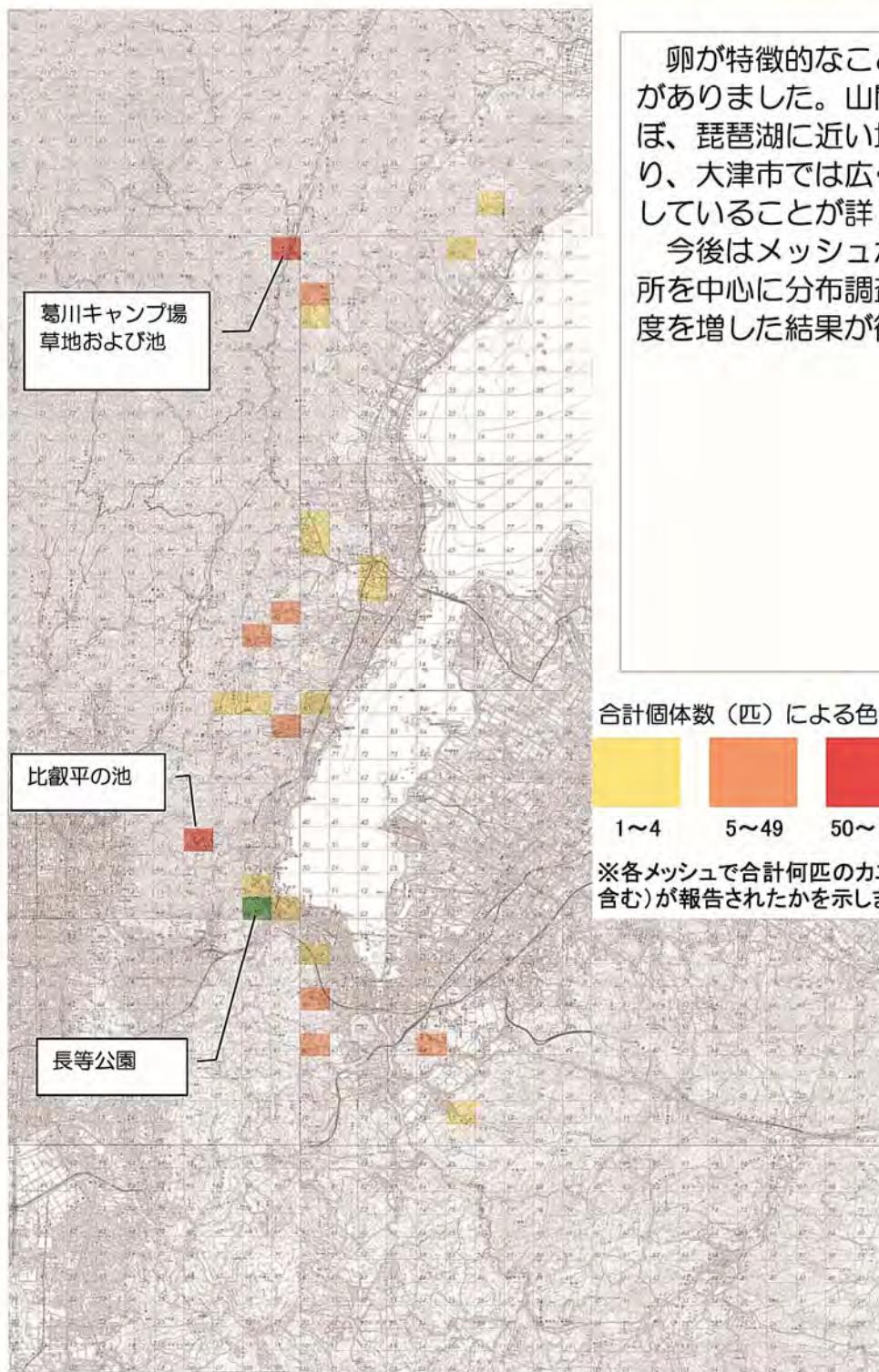
# シュレーゲルアオガエル



山ぎわの棚田で報告が多くありました。産卵期以外のこの時期に見つけるのは非常に難しい種類です。一般的には田んぼや草むらで見つかります。

ニホンアマガエルやモリアオガエルと識別が難しいので、混乱を防ぐためしっかり同定する必要があります。時期を繁殖期（4月下旬～5月下旬）に行うとより分布域が増えてくるでしょう。

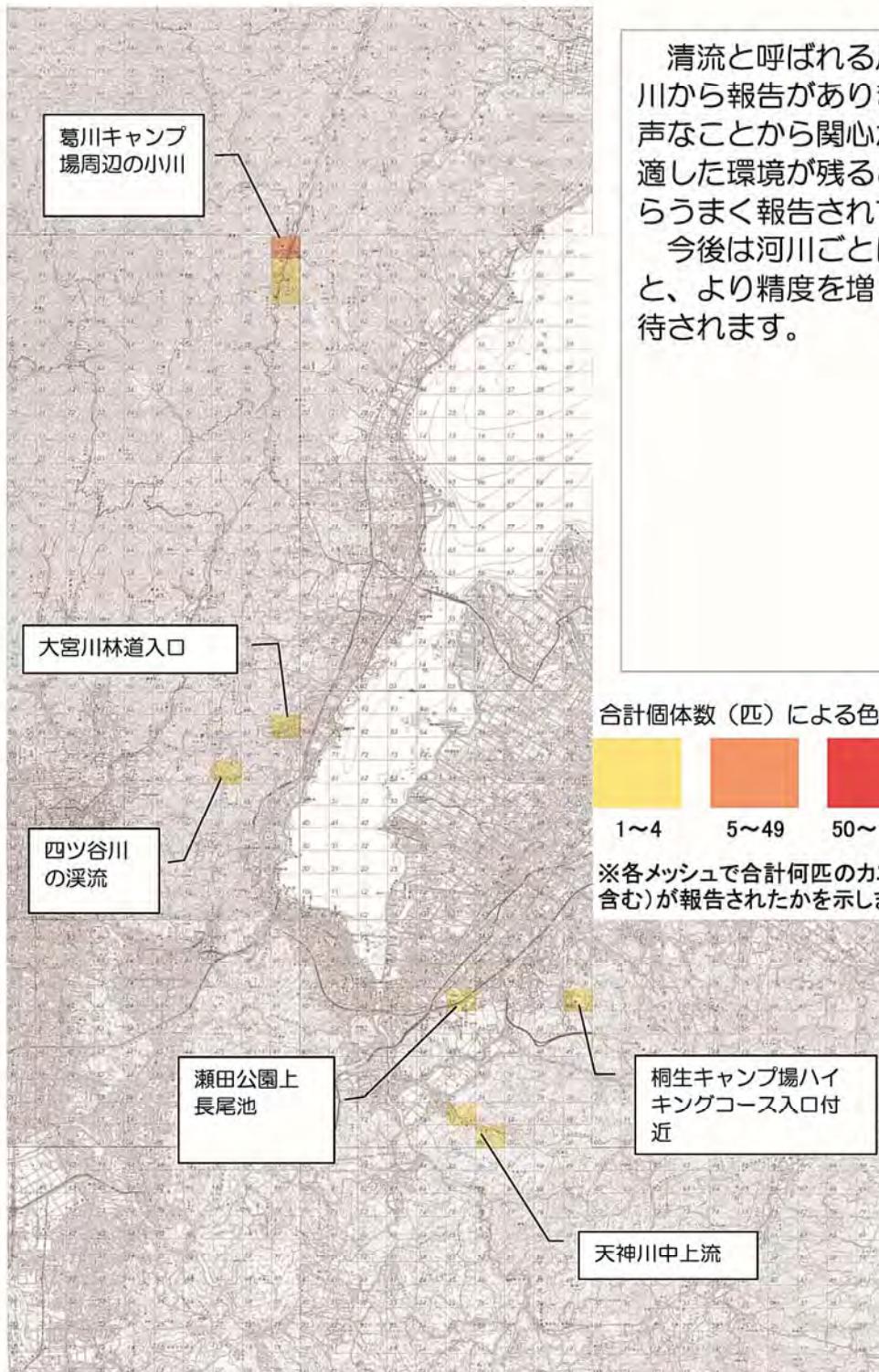
# モリアオガエル



卵が特徴的なことから、多くの報告がありました。山間部のため池や田んぼ、琵琶湖に近い場所からも報告があり、大津市では広くまんべんなく分布していることが詳しくわかりました。

今後はメッシュが埋まっていない場所を中心に分布調査を行うと、より精度を増した結果が得られると思います。

# カジカガエル



清流と呼ばれる川や山あいを流れる川から報告がありました。鳴き声が美声なことから関心が高いのか、生息に適した環境が残ると想定される場所からうまく報告されています。

今後は河川ごとに分布調査を進めると、より精度を増した結果が出ると期待されます。

合計個体数(匹)による色分け



※各メッシュで合計何匹のカエル(幼生や卵含む)が報告されたかを示します。